



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水生生物センター 担当：内藤
TEL：072-833-2770 FAX：072-831-0229
mail：k.naito@mbox.epcc.pref.osaka.jp

プレスリリース

平成 24 年 6 月 21 日 14:00

府政記者会 会員各位
枚方記者クラブ 会員各位

淀川城北ワンドで在来魚が増加 イタセンパラの野生復帰まであと一歩

「大阪府立環境農林水産総合研究所 水生生物センター」では、天然記念物イタセンパラの野生復帰を目指して、大阪市旭区の淀川城北ワンドで、外来生物の駆除を継続して行ってきました。

その結果、在来魚の増加傾向がみられ、イタセンパラが属するタナゴ類等の大幅な増加が認められています。

今後、市民ネットワークなどを通じて、さらに成果をあげていきたいと考えています。

1. 実施期間と駆除方法

実施時期は平成 21 年 12 月から 24 年 3 月で、休日を除くほぼ毎日、カゴモンドリ（写真 1）や藻場トラップなどを利用して、外来魚の駆除を実施しました。（写真 2）

2. 在来魚の増加状況

重点的に駆除を行ったワンドでは、在来魚の割合が駆除前の 9.3%から 78.3%にまで大幅に増加しました。イタセンパラが属するタナゴ類（写真 3）の年間採集尾数は平成 22 年度の 71 尾から 23 年度は 5.2 倍の 367 尾と大きな増加が認められました。

3. 外来生物の減少状況と総駆除数

一方、外来魚のオオクチバスは駆除前の 50.7%から駆除後 3.8%に、ブルーギルは同じく 39.4%から 15.7%に減少しました。また、外来魚の総駆除尾数はオオクチバス 16,579 尾、ブルーギル 135,814 尾など合計 152,771 尾、また、外来水生植物ではナガエツルノゲイトウ 227,267kg など合計 233 トンでした。

4. 今後の方向

淀川のイタセンパラは平成 18 年から確認が途絶えています。今後は、水生生物センターで飼育したイタセンパラの淀川ワンドへの放流、自然繁殖など野生復帰に向けた「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク」（平成 23 年 8 月に発足）の活動を通じて、さらに成果をあげていきます。



(写真 1)カゴモンドリによる駆除



(写真 2)外来水生植物の駆除



(写真 3)増加しつつある在来魚（タナゴ類の稚魚）